

子ども一人ひとりの課題解決につながる松阪市標準学力調査

実施期間： 令和6年4月18日

対象学年： 小学校3・4・5年生、中学校1・2年生
対象教科： 国語、算数・数学

調査の目的

- ・子ども一人ひとりの学力を正しくとらえ指導の手立ての充実を図り、確かな学力の定着をめざします。
- ・子どもたちの実態に基づいた改善活動を支援します。

確かな学力の定着をめざして

調査・実態把握



○調査問題は「基礎・基本」に関する問題と「活用」に関する問題で実施
(記述・論述問題を含む)

分析・検討



○一人ひとりの優れているところ、課題があるところの分析
○指導方法等についての検討

説明



○学校の状況についての説明
○一人ひとりの子どもに応じた学び方や課題を改善するための手立ての説明

個に応じた学びの保障



○個別の復習教材の活用による一人ひとりに応じた指導の充実

継続した改善活動

めざす学びの姿



授業の充実

Q. 調査はどのように行われますか？

A. 小学校では、国語・算数それぞれ45分間で実施します。
中学校では、国語・数学それぞれ50分間で実施します。
調査問題は、漢字や計算など「基礎・基本の力」や全国学力・学習状況調査でも課題が多いとされている条件作文や答えを導き出した考えを、言葉や式を使って書くなどの「活用力」に関する問題が出題されます。(※出題範囲：前学年の学習内容)

Q. 調査結果は、どう扱われるのですか？

A. 調査結果は、個人や集団の比較をするのではなく、一人ひとりの子どもに応じた指導や支援に活かします。
また、全国的な児童生徒の学力の状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や指導の改善に役立てます。小学校、中学校ともに、より個の成長や課題を認識できる段階評価方式を導入しています。

(問い合わせ先)
松阪市教育委員会 学校支援課
電話 0598-53-4334